

## 「ご挨拶」

牧師 古川 富也  
(大阪東南キリスト教会)



## 「使い捨ての歴史を打ち破る」

80年ぶりに子供のころ住んでいた東京の墨田区を流れる荒川に行ってきました。この川は隅田川の洪水を防ぐために約百年前の1914年大正3年に川幅500メートルの大きな川が荒川放水路として造られたのです。当時植民地とされていた朝鮮から大勢の人たちを連れてきて工事が進められ、工事完了後この人たちは墨田区の木下川(きねがわ)地区に住み着いたのです。大正12年関東大震災が起これ東京は壊滅的な被害を受け、火災によりおおよそ10万人の死者が出ました。ところが木下川地区の住民の中から「この火事は朝鮮人が火をつけた」とのデマが広まり、自警団、警察、軍人までがこの人たちを襲撃し暴行しました。暴行から逃げるため荒川の堤防に逃げましたが、陸軍の機関銃が数百人も撃ち殺したのです。橋を渡って逃げる者を警官が刀で刺殺しました。この人たちの遺体は木下川地区に埋められて、2002年にその付近に心ある民間人が自費で「関東大震災時韓国・朝鮮人殉難者追悼の碑」を建てました。国も自治体も証拠のないものに金は出せないというからです。荒川を造るために連れてきて、いらなくなると使い捨てにするのです。

万博をはじめとするバブルの時代に大勢の労働者が集められ、不景気になるとその人たちを見捨ててしまうという使い捨ての構図は、百年後の現代も行われているのです。

聖書には見失った一匹の羊を探し求め、ついに見つけた時のイエスさまの喜びの言葉が残されています。『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください。』これはまた私たちを造られた神さまの喜びなのです。そこには使い捨てや派遣切りなど、人間の都合など入り込む余地はありません。

「愛の家」の働きこそ、日本における百年の闇の歴史を打ち壊す働きなのです。

## 「ご挨拶」

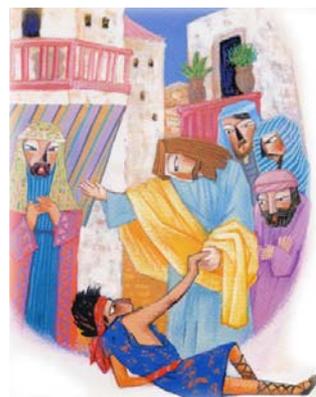
在日大韓基督教会・西南地方会長 牧師 金明均  
(福岡中央教会)

## 「あなたの隣人は誰か？」

「あなたの隣人は誰か？」と神様に尋ねられたら、皆さんはどのように答えられるでしょうか？隣に顔をむける？ 私は、「愛の家」の働きに本当にすばらしさを感じています。愛には色々な面がありますが、相手の必要を知って助ける事でもあると思います。必要を知った相手が、隣人ではないでしょうか？それを知らないふりをするのが通り過ぎた者達。知っていても、出来なくて悩む人もいます。知っていても、どう助けたいかわからない人、他に先に助けたい人がいる人もいます。

その働きに参与出来る機会を与えて下さり、一番大切な永遠の命を伝える働きに感謝します。福音を伝える為には、相手の必要に応えなければ、聞いてもらえません。お腹がすいていたり、悩みがあつたりすると、気持が、意識が、向かないからです。「愛の家」には証があります。助けられた方々が、主にあつて輝いて奉仕し、礼拝されているからです。ここに神様の愛を見る事が出来ます。本当に貴いお働きに参与される皆様に感謝します。

どうか、この働きを覚え、祈りで、物質で、身体で、参与される事を願います。私達の為、死なれる為に降誕されたイエス様を思いつつ。



# 「愛の家」の風景

[www.ainoie.org](http://www.ainoie.org)



①聖書勉強会



②教会創立16周年記念礼拝



③金曜炊き出し会



④木曜伝道集会・日曜伝道集会



⑤衣類配布会



⑥2013年度全信徒修養会



⑦宣教チームの訪問



⑧洗礼者教育



⑨「教会学校」大好きな子供達



## 「愛の家」近況報告

### 《宣教チームの訪問》2p 写真 ⑦

今年の夏も恒例の宣教チームが来教しました。韓東大学賛美チーム(7名)、韓東大学HDS宣教チーム(10名)、ウォンジュ市民教会・スヨン口教会の合同宣教チーム(20名)、眞木(ジンモク)教会青年宣教チーム(14名)、大邱広域市家庭委託支援センター研修チーム(9名)の5チームです。毎年、来教するチームは「愛の家」の活動を心に留め、来訪する度に日本の弱い人々を愛し宣教活動や奉仕をしてくれます。又、チームは何ヶ月も前から私達の為に讚美・ダンスを準備し、失業者・野宿者に向け伝道集会を行ってくれます。この野宿者達に対しての深い愛と強い信仰心を持って奉仕してくれまので、集会に参加した人々がみな恵みに満たされ喜びながら帰って行きます。チームの日本への情熱的な宣教活動によって、イエス様を信じる人々が多く現われますよう、切に祈ります。同時に「来年も素晴らしい宣教チームを送って下さる様に」と神様に切に祈っています。

### 《2013年度全信徒修養会》2p 写真 ⑥

今年も恒例の全信徒修養会を9月2日から4日まで3日間の日程で兵庫県の氷上祈禱院で行いました。今年も大人だけの修養会となりましたが多くの信徒が参加し、開会礼拝から始まり、午後の礼拝、夜の祈禱会、そして、早天祈禱会、分担祈禱会を行いました。祈禱会では姜師母による讚美の導きで賛美歌を大いに歌い・踊り、又、礼拝では金鐘賢牧師の導きにより御言葉を聞き、共に祈り、主と交わりの時を持つ事ができ、大変恵まれました。そして、祈禱会の合間には自然豊かな祈禱院の周りを散策しながら、心は童心に帰りカエルと戯れ、夕食時は祈禱院の庭を借り野外バーベキューで舌づつみし、食後は皆で温泉に浸たり日頃の疲れを癒していました。

### 《聖書勉強会・洗礼者教育》2p 写真 ①⑧

今年も恒例の「聖書勉強会」と「洗礼者教育」が行われました。「聖書勉強会」は毎木曜日に10回に渡り初級クラスは「新しい主の家族の道」(講師—姜師母)と中級クラスは「聖霊に導かれて生きよう」(講師—金牧師)というテーマを持って2クラスに分かれて行われました。今回の初級クラスには今まで無信仰だった人達が多く参加されました。勉強会では全員が時間前に着席しテキストを片手に予習をし、講義中は講師の話をよく聞き、講義の内容を自分のものとする為、熱心に受講されていました。そして、殆どの方が最後まで欠席する事なく無事に卒業する事が出来ました。「洗礼者教育」も毎週金曜日に行われ、今回は5人が参加されています。いつも、洗礼を自ら受ける決心がつかず迷う人々が多い中で、今回は自ら「洗礼を受けます」と強い意志を持って教育に望まれていました。今年のクリスマス洗礼は5人が洗礼を受ける予定です。尚、今年のイースター洗礼式では1人の兄弟が洗礼を受けられました。

### 《木曜伝道集会・日曜伝道集会》2p 写真 ④

木曜・日曜集会には100名近くの失業・野宿者の方々が来られます。木曜集会ではAM. 9:00に入場し、支援者から頂いたコーヒーを飲みながらキリスト教関係のビデオを鑑賞やシャワーを使用したりしてリラックスされています。礼拝の時間に成ると、姜貞淑師母、岡田修一兄弟(木曜担当)と吉見姉妹(日曜担当)の三人の素晴らしい歌声の導きにより賛美を合唱し、礼拝へと進んでいきます。礼拝は毎週、各先生方が説教の奉仕をして下さいます。奉仕して下さる先生方は当教会の金鐘賢牧師を始め朴栄子牧師(豊中

第一復興教会)・金景淑牧師(ホザナ教会)・全聖三牧師(布施教会)・朴珍烈牧師(平野教会名誉牧師)の先生方です。多くの兄弟達が礼拝を通して各先生方の恵み溢れる御言葉を聞き、感動を覚えイエス様を信じる様に祈ります。そして、礼拝後は支援者から頂いた食材で調理された食事が配布され、参加者が共に交わりながら食事しておられます。尚、日曜日が井物で木曜日がランチ形式のメニューになっています。兄弟達が帰る時に「行ってらっしゃい」と声をかけると「有難う御座いました。」と返事が返ってきます。これも支援して下さった皆様方へのお礼だと私達は思っています。

### 《金曜炊き出し会・衣類配布会》2p 写真 ③⑤

毎週、金曜日には野外(西成公園)でのジャンボお握りと味噌汁を配布する炊き出し会を行っています。その日は早朝より準備に掛かりお米45kg程を使用し、ジャンボお握りを毎回250個程、奉仕者の皆様と共に作ります。又、支援して下さったお米で作る時は支援者のお名前を発表し、感謝しながら握り、作業終了後は全員で賛美歌を歌い、炊き出しの場所へ出向きます。又、炊き出しと同時に皆様から頂いた衣類を配布する週もあります。寒さが厳しい時などは、自分の求めたい物を手に入れて満面の笑顔で私達に御礼を言ってくれます。本当に支援者の方々から心から感謝致します。此れからも暖かいご支援を御願い致します。

### 《「教会学校」大好きな子供達!》2p 写真 ⑨

今年も元気一杯の子供達が毎主日の教会学校に参加しています。礼拝では吉見真希姉妹の導きで一人一人が大きな声で賛美し、御言葉を真剣に聞き、自分の為、友達の為に祈っています。3~4才の子供達が小さい手を合わせて心より祈っている姿を見ると、私達が反対に恵みと勇気を貰っている様な気がします。そして、今年も聖誕祭で、失業者・野宿者の方々に発表する聖劇・歌・楽器演奏等を主日礼拝後、各先生の指導の元に一生懸命練習しています。発表会で天使の様な子供達の姿に感動し、恵まれ、多くの兄弟達がイエス様を信じる心を開くようお祈りしています。そして、これからも子供達がイエス様の教えを良く守り、命の大切さを知り、立派に成長し次世代の浪速教会の中心となる様に私達信徒一同は心より祈っています。

### 《教会創立16周年記念礼拝》2p 写真 ②

浪速教会は今年で16周年の節目を迎えました。その記念礼拝が7月7日の主日に堺教会でピアノの奉仕をされている徐聖瓊執事を特別ゲストとしてお迎えし、おごそかに行われました。浪速教会は皆様も御存じの通り、この世の最も弱く貧しい人々を救う為に、金鐘賢牧師と姜師母との二人三脚で何も無いところから開拓伝道されました。最初は自分達も貧しい中、野宿者の為に食糧を分かち合いながら病人を看病し、弱者の為に献身的に奉仕をされました。その姿を神様が御心に留めて下さり大いなる祝福をこの浪速教会「愛の家」に与えて下さり、そしていつも暖かく御支援して下さいました。全国の支援者の皆様方のおかげで、今日に至っています。これからは30年、60年、100年と浪速教会「愛の家」は弱者の為に奉仕できる様、金牧師、申副牧師、姜師母をはじめ信徒一同が心一つにして奉仕させて頂く所存です。

**今年一年、暖かい御支援を有難う御座いました。  
これからも引き続き御支援の程を宜しく御願致します。**

## 奉仕者の声

### 『「愛の家」で過ごした6ヶ月間』

キムシンヒ

金信熙(研修生)



私は2013年3月から9月までの約6ヶ月間、短期研修生として浪速教会「愛の家」で奉仕活動をさせて頂きました。最初、浪速教会「愛の家」の働きについて知ったのは、私が属

している韓国の教会が伝道旅行として大阪の浪速教会を訪問した時からです。

2012年の夏と冬の2回に渡って浪速教会での短期宣教に参加したことがきっかけでした。私は就職か進学か迷ってまだ自分の中で進路を決めていなかったため、若い時に隣人に仕え奉仕する社会奉仕の経験をしようという思いで浪速教会「愛の家」の研修生として日本に来ました。

浪速教会「愛の家」での奉仕は2回の宣教訪問をして大体経験していたので、浪速教会に行き、イエス様のようにへりくだって人に仕えよという覚悟を持って浪速教会での奉仕活動を始めました。しかし私が実際、浪速教会でホームレスの支援活動を手伝いながら感じたことは、ホームレスの方々と先ず路上で生活している苦しみを考えて心が痛かった事と不思議で

たまらなかったことがありました。何故なら、ホームレスのおじさん達は私を見ると真っ先に明るい声で挨拶をしてくれたり、笑顔で話かけてくれたりしました。韓国にもホームレスの方はいますが『韓国のホームレスの方も果たしてこんなに明るく生きているか？また、日本のホームレスの方だけの特徴ではないか？』と考えさせられました。私自身、韓国ではホームレスの方のために奉仕をしたことがなかったので、ホームレスの方は皆『暗い顔つきで、話しかけても答えてくれない怖い人』だと思っていました。しかし、浪速教会での奉仕活動を通して私の偏見が変わりました。それからは彼らにより親しみを感じ、もっと優しく『愛』を実践しなければならぬと思いました。

「愛の家」の木曜伝道集会、金曜炊き出し、日曜午後礼拝には多くの方々が参加しておりますが、その参加している人々が、ただご飯一食を食べる為ではなく、共に楽しく賛美し、御言葉を聞き、主に祈り、イエス様を迎え入れ真の神を信じ、人生が変わり奇跡が起こる希望を持って礼拝していました。私は日本語が下手で日本語の会話が良く出来ませんが、一緒に短期研修生として奉仕に来ていた李賢民兄弟(韓東大生)が日本語を良く話す事が出来たので、

礼拝前の賛美を共に導く事が出来ました。そして、共に賛美しているおじさん達の姿を見ていると、とても幸せに成り嬉しく思いました。又 賛美を導く時、私は何時もここに集まっている全ての人々がイエス様を信じ、神の子供となりますように祈りを込めて歌いました。

浪速教会「愛の家」での奉仕活動は木曜日、金曜日、日曜日の三日間ではありますが、奉仕活動に参加して分かった事は料理、会場整理、整理券配り、道案内、掃除、皿洗い等の奉仕が多々あり、「愛の家」の活動には多くの人々の助けが必要である事を痛感しました。そして、大変な仕事をいつも黙々と担っている牧師先生夫妻を始め、ボランティアとして奉仕されている信徒の皆さんを見て「凄いなあ」と思いました。特にお年寄りの方が大半を占めている信徒の皆さんが心一つにして奉仕活動を大切に守っている姿を見ると、大きな感動と恵みを受けると同時に、今までの自分自身を反省してしまいました。また、「愛の家」では日頃の奉仕活動も大変だと思いますが、毎年

夏と冬に韓国から訪問する青年・学生短期宣教チーム(年間約10チーム)を迎え入れて『おもてなし』という、仕えることも行なっています。私は短期宣教チームの一員として参加した時は分からなかったのですが、いざチームを迎える時に布団、料理、交通案内など準備する大変な作業を自分自身が体験して

みて、宣教チームを迎える先生や師母、教会のスタッフの皆さんを尊敬するようになりました。それでも、大変な準備にもかかわらず宣教チームが来たら笑顔と暖かい愛を持って教会の皆さんたちが迎え仕えてくれます。また私が奉仕している時も、不足だけでなく未熟な私をいつも愛しく下さり、励まして下さる皆さんの姿を見て私はまだまだ奉仕者として沢山見習うところがあると思いました。浪速教会での6ヶ月は

短い期間でありましたが私にとってはすべてが有益であり得になる時間でした。そして、何よりも人に仕え、人を愛することが何であるか、またいかに大事であるかを学びました。そして、私にとっては「愛の家」での奉仕と出会った全ての人々が恵みであり祝福でした。私はこれかも浪速教会で学んだ『愛』で、どこへ行ってもその『愛』を実践して生きていきたいと思ひます。



## 奉仕者の声

### 「愛の家」の精神

キム チョン ヒョン  
金 鐘 賢

(浪速教会「愛の家」牧師)

「愛の家」には野宿生活者、失業者、生活保護受給者が集まって共に生き、支え合っ  
て生きています。私は「愛の  
家」の奉仕者として私達「愛  
の家」の奉仕活動の内容と



特徴について紹介させていただきます。

1)「愛の家」の奉仕活動の精神は一人一人を大切にすることです。『はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』(マタイ25:40) イエスの御言葉に従い私達の助けを必要とする兄弟達(認知症を患っている人、高齢者、病気の人、知恵遅れの人、精神障害者、精神病の人)と共に生きて来ました。ですからいつの間にか「弱い人を助ける、病気の人を見守る、子供を愛し大切にする。」事を率先して行う人が多くなって来ました。長年福祉部屋に暮らしているTさんは最近、心臓が悪くて足がはれて歩き難くなりました。住み慣れた家が教会から少し離れていた



ので今まで自転車で通っていましたが。彼は食事を3食「愛の家」でするので介護会社に頼んで電動車椅子を借りて一日何回も通っています。初めて電動車椅子に乗っているので誰かが見守らないと倒れる危険性がありました。それを密かにやってくれるようになったのは高山さんでした。高山さんの御陰でTさんは「愛の家」に安心して通えるようになりました。家族同志で互いに助け合い支え合っ

て生きるから家族一人一人の健康と命が守られています。

2)「愛の家」の奉仕活動の精神は誰も見捨てないで共に生きることです。あなたは要らないと言わないし問題がある人も共に家族として認め、できるだけ赦し受け入れるように心かけて来ました。

「愛の家」は主にあって福祉部屋の家族、信徒一人一人が皆同じ兄弟姉妹であり「家族共同体」だと思っています。死ぬまで共に生きる家族であるからけんかやトラブルがあっても直ぐ仲直りして仲間はずれや絶縁することはほとんどありません。

私達が死ぬまで守り天国に見送った人の中で忘れられない兄弟がいます。Nさんは仕事に事故にあい障害を負うようになり「愛の家」福祉部屋に入りま

した。彼は若い時スポーツマンだったので障害があってもよく歩き生きる意欲がありました。しかし、年と共に体力が落ちて歩けなくなりました。介護サービスを受けてもヘルパーさんがいない間の世話が大変でした。私が慎重に彼に聞きました。「私達があなたの世話をするのが難しいので施設に入りましょうか？」と、彼は既に認知症にかかっている言葉の受け答えが出来ない状況でありましたが涙を流しながら施設には入りたくない意志を明らかに示してくれました。担当のスタッフは「彼が死ぬまで面倒を見てあげます」と彼と約束しました。彼はそれから私達と共に天に召されるまで自分の部屋で住み続け天国に見送られました。

もう一人のHさんは精神障害や身体障害を持っている人で、いつも怒りけんか、退屈になったら急に姿を消して行方不明になってしまいます。彼が家出した数は70回以上でした。彼は家を出て困った時は警察に行って私達を呼び求めます。彼に対しても私達のスタッフTさんは死ぬまで面倒を見てあげると約束しました。朝日新聞記者が「愛の家」取材する時、彼にインタビューをしました。彼は「愛の家」があるから家を出ても安心して帰られると言いました。彼は問題を毎日のように起こして迷惑をかけても怒らないで受け入れてくれる「愛の家」家族に感謝し、感謝を表すためにアルミ缶を拾って神様にアルミ献金として捧げました。

最近認知症で方向感覚も記憶力もほとんど失われたH. Iさんの事で担当のスタッフが病氣になりました。彼は最近教会の隣の部屋に引っ越しました。昼も夜も付き添わないといけないからお世話をしやすいようにするためでした。しかし、新しい部屋にかわってからは自分の部屋ではないと思うようで毎日のように家を出て探すのも付き添うのも大変で担当のスタッフが病氣になりました。私は担当のスタッフに彼を施設に入れることを勧めて見ました。するとスタッフは彼がかわいそうですから死ぬまで面倒見てあげますと言いました。それから不思議にH. Iさんは家を出る頻度が少なくなり最近教会の掃除食後の手伝いにも良く協力するなど生活が少しずつ安定してきたのです。

1人も捨てないで共に生きる方針を立てたのは私でありましたがそれを守ってくれるスタッフの皆さんの献身によって守られていることに感謝しています。



## 『浪速教会での初めての結婚式』

姜貞淑（浪速教会「愛の家」牧師夫人）

信徒の90%が男性である浪速教会で、唯一の未婚の女性だった吉見真希姉妹が6月29日(土)に当教会で結婚式を挙げられました。相手は浪速教会の執事である平野竜一兄弟(前号の「奉仕者の声」の投稿者)です。

平野さんは日本経済が不景気の故に失業し、やむを得ず野宿生活をしていました。生きて行く為に方々の「炊き出し」を頼りにしてお腹を満たしていました。その様なある日、浪速教会の伝道集会に導かれるまま教会に来ました。最初は集会後の食事が目的で参加していましたが、参加する度にいやでも耳に入る聖書の御言葉により少しずつ心が開かれ、イエス・キリストを信じる決心をし、洗礼を受ける様になりました。余りにも真面目である平野さんの信仰の成長ぶりを見て、金牧師は野宿から脱皮して自分の部屋で生活出来る様、福祉の手続きを手伝い、自分の部屋で生活出来る様になりました。しかし、元気でまだまだ働ける40代の平野さんは、福祉だけでは頼らず自立を目指して新聞配達、ビル清掃等の仕事をする傍ら、時間が許す限り礼拝と奉仕も熱心で、今年は執事として任命される程、皆からも認められました。

浪速教会の賛美のリーダーである吉見真希姉妹に憧れていた平野さんは毎週主日の礼拝後に楽器の練習をする真希さんの様子を最後の最後まで見届ける熱烈なファンでした。そのうちに二人の愛が芽生えてきて、4月のある日、金牧師に二人が結婚をしたいと意志を告げると、結婚まで考えていなかった金牧師はビックリ仰天でした。なぜなら二人の結婚には、育った環境・学歴・年の差等、色々な面で大きなハードルがあったからです。しかし、吉見姉妹は結婚の条件として「信仰と優しさ」そして、「福祉生活からの完全な自立」が出来たら良いという事でした。そこで、平野兄弟は福祉からの自立の為、ヘルパーの資格取得の為の勉強をし、結婚をする前にヘルパーの資格を取り、また老人ホームへの就職も決まり結婚の条件を全て満たしました。そして、吉見姉妹のお父さんの承諾を貰い晴れて結婚の運びとなりました。

二人が結婚の発表を行った日、吉見姉妹に憧れていた兄弟達は皆しょぼりしていましたが、浪速教会での初めての結婚式なので、直ぐに心から二人を祝福していました。そして、式の日時が決まると全信徒が心一つにして、教会堂内外の掃除や式場作りの準備に一生懸命でした。特に、教会創立以来の初めての結婚式でもあるし、信徒同士の初めての結婚でもありましたので、兄弟達も準備に大変戸惑っていました。金牧師も浪速教会での初めての式なので、大変な心配りを示され、今まで他の教会から貰って使用していた長椅子を新しく新調したり、音響設備も整えたりで大変な準備でしたが、式当日は天候にも恵まれ、家族的な雰囲気の中に、二人が信徒と家族の前で主に永久の愛を誓いました。私達にも教会にとっても初めての結婚式でしたが、神様から溢れんばかりの祝福と愛と恵みを受けて、式に参加した全ての人々が大きな感動を覚えています。

尚、二人は神戸の方で喜びに満ちた新婚生活とそれぞれの仕事に頑張っています。

将来の浪速教会の柱となり、希望を失った人々に希望を与える主の良き器となります様に……皆様にもお祈りを願います。

## 「愛の家」会計決算書(2013.4～2013.11)

収入	13予算	13. 4-11
定期後援会	800,000	461,000
一般後援会	1,900,000	1,150,832
クリスマス献金	1,000,000	0
食事献金	2,500,000	1,429,843
総会支援金	500,000	0
御米献金	360,000	55,200
<b>小計</b>	<b>7,060,000</b>	<b>3,096,875</b>
繰越金	717,650	717,650
<b>合計</b>	<b>7,777,650</b>	<b>3,814,525</b>

支出	13予算	13. 4-11
事務・備品費	730,000	123,957
交通費	100,000	8,230
車両維持費	300,000	0
奉仕者支援金	1,500,000	1,033,000
研修費	150,000	0
御米代	1,000,000	693,796
副食費	2,900,000	1,832,748
会議費	30,000	14,000
修理施設費	50,000	0
愛の家建築積立金	800,000	0
救済費	50,000	0
予備費	167,650	30,000
<b>小計</b>	<b>7,777,650</b>	<b>3,735,731</b>
繰越金		78,794
<b>合計</b>	<b>7,777,650</b>	<b>3,814,525</b>

## 「愛の家」建築会計決算書(2013.4～2013.11)

収入	13 予算	13. 4-11	備考
建築献金(国内)	3,000,000	687,065	
建築献金(海外)	3,000,000	0	
アルミ集会献金	200,000	115,314	
教会建築積立金	400,000	120,000	
愛の家建築積立金	1,000,000	0	
地方会支援金	600,000	400,000	
福祉部屋献金	3,400,000	1,68,000	
福祉部諸君(預)金返済金	0	1,000,000	
受け取り利子	0	127	
<b>小計</b>	<b>11,600,000</b>	<b>4,002,506</b>	
繰越金	2,284,420	2,284,420	
<b>収入合計</b>	<b>13,884,420</b>	<b>6,286,926</b>	

支出	13 予算	13. 4-11	備考
銀行融資返済金	9,000,000	2,583,653	
エコロフ融資返済金	2,060,000	2,010,000	
リフォーム工事代	500,000	212,252	
募金交通費	400,000	0	
諸経費	200,000	0	
予備費	1,724,420	0	
<b>小計</b>	<b>13,884,420</b>	<b>4,805,905</b>	
繰越金		1,481,021	
<b>合計</b>	<b>13,884,420</b>	<b>6,286,926</b>	

負債現況(2013年12月1日現在)

教会堂「愛の家」センター建築	
銀行融資金	12,516,000 円
エコロフ融資返済金	0 円
教会債	0 円
合計	12,516,000 円





## 路上生活者支援のための クリスマス献金のお願い



主の御名を讃美致します。

今年も11月が過ぎ12月になり2013年の幕を閉じようとしております。

1年間皆様のご支援を賜り週3～4回の集会と炊き出しを守り、路上生活者への支援活動を行うことが出来たことを心より感謝致します。

実は今年も何回か資金不足で炊き出しを継続すべきかどうかスタッフと一緒に悩んだこともありました。私達は厳しい財政状況の中でも、今までいつも「愛の家」の働きを守り必要を満たして下さった神の御手を信じ神様に祈り委ね支援活動を続けて来ました。

11月からは例年通り金曜夜回りを始めました。道端には余儀なく野宿されている兄弟達が沢山いる状況は変わりありません。私達の活動が路上生活者の皆さんに少しでも力になることが出来ればという願いを持って毎週金曜日の夜、釜ヶ崎を回っております。

今は私達「愛の家」の定期後援者も、一般後援者も減っているのが現状です。今は皆様が毎年支援して下さるクリスマス献金が一番大きな財源になっているのが現実です。財政が厳しくても「愛の家」は週3回の集会と炊き出し、11月から3月まで、越冬対策のための夜回り（巡回炊き出し、毛布、寝袋配り）をいつものように行なっています。

現在、私たち「愛の家」炊き出しは週3回実施しております。金曜炊き出しには約150～200人が来られ、日曜礼拝や木曜集会にも約100人が来られます。

現在、毎週炊き出し費用として89,000円が支出されています。

(お米130kg・39,000円、副食費50,000円、合計89,000円)

クリスマスを前にして路上生活者の皆さんにも、御子イエスの聖誕の喜びとイエスの愛を届けることが出来ますようにクリスマス献金へのご協力をお願い致します。

「愛の家」事業：金曜炊き出し、木曜集会と食事、日曜礼拝と食事、散髪奉仕、共同生活、シャワサービス、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、冬季夜間パトロール、生活用品収集分配

**2013年度クリスマス献金目標額：100万円**

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、 定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、毛布、生活用品、カイロ、食材、お米を送って下さい。

郵便振替： 00930-0-299392 在日大韓基督教会 浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、 Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2013年12月



在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」

共同委員長 森田 幸男 牧師

共同委員長 李 清 一 牧師

総 務 金 鐘 賢 牧師

## 献金者お名前(敬称略・順不同)

(2013年4月～2013年12月)

**定期後援金:** 関西地方会社会部、大阪教会女性会、大阪北部教会女性会、横浜長老教会、洲本チャペル、石井洋二、豊中第一復興教会、大阪東南教会、金鐘賢、許清子、森元孝・金英姫、古川富也・知恵子、野津道代、大木正典、匿名

**一般後援金:** 横浜長老教会、岡山伝道所、堺清水橋教会、都島教会、在日大韓基督教会総会、つくば東京教会、洲本チャペル、西部地方会社会部、南浦和教会、西宮弟子教会、武庫川教会聖歌隊、帯広教会、大阪教会有志、大阪教会女性会社会部有志、シオン合唱団、関西地方会女性連合会社会部、韓国ハンヤン CBMC、布施教会中高部、布施教会キャロル隊、布施教会青年部、大垣市内信徒会、女子御受難会、メダデ教会、韓国東豆川ソネ教会、テグ家庭委託支援センター、韓国テヨン教会宣教チーム、韓国ソウル使徒教会、韓国ジンモク教会宣教チーム、韓国ウルサン老会社会部員、ザ・フロンティアーズ、Y・M、韓国スアン教会、関空伝道所、森田幸男、長野泰子、李光世、澄川満喜子、上田一郎、川上静子、齋藤勇男、金正淑・信基、塩野淳子、金在一、崔修永、森生ともえ、金恩順、鄭スング、金錦順、チェスイル、クワン・ヨンイム、チェ・スジョン、チェ・ジハ、ジョン・ジョンヒ、田部郁彦、吉村彰一、成基福、姜ソンボン、ウイグアンフン、ソン・ナムヒ、ジン・ソルリョン、ジョン・ギヒョ、朴小善、金鐘賢、姜貞淑、朴栄子、金景淑、許静子、大木正典、山崎雅代、高松牧人、伊東賢和、水野由記夫、各務正太郎、嶺洋一、丘圭希、伊藤房子、孫夏景、韓国シロアム眼科医院、中村、ミオ介護会社、浜家幸太郎、金柄鎬、井上(グッド・サマリタン・チャーチ)、匿名

**建築献金:** 関西地方会、ウオンジュ市民教会、眞木(ジンモク)教会、韓東大学HDS宣教チーム、洲本チャペル、金鐘賢・姜貞淑、金斗賢・善栄、大木正典、竹内清、吉見真希、森元孝・金英姫、申容燮・清水のぞみ、久保賢太郎、佐藤栄一・悦子、井上豊、古川富也、森田幸男・孝子、山下博行、野津道代、金吉雄、匿名

**お米、お米献金:** 大阪北教会 関西フードバンク、布施教会青年会、洲本チャペル、神戸布引教会壮年会、大阪東南キリスト教会、久保賢太郎、池本恵、古川富也、六信みどり、宮澤玲子、田部郁彦、小林勝、島内敏子、米田孝太郎・ちさと、大原いづみ、川上静子、木村敏子、武庫川教会有志、山本覚、康順愛、金鐘賢、伊東賢和、吉見真希、森元孝・金英姫、大阪ガス、匿名

**食材:** 関西フードバンク、布施教会、久保賢太郎、新居浜グレース教会、山崎靖史・悦子、沈貞児(シオン合唱団)、清水真一・佐代子、中村礼子、宮脇照美、匿名

**衣類、生活用品:** グッド・サマリタン・チャーチ、豊中第一復興教会、永和教会、ホサナ教会、金鐘賢、久保健太郎、六信みどり、武庫川教会、岡山教会、許清子、田部郁彦、平田健二、大原いづみ、上田洋子、金恩順、匿名

## 「愛の家」センター 建築ニュース

浪速教会「愛の家」センターを建築して今年で6年になりました。

皆様のご支援を賜り、当初

5千万円もあった建築負債が現在では1,250万円まで減りました。2013年の1年間、「愛の家」センター建築献金募金にご協力を頂き、心より感謝を申し上げます。

今年は私達の「愛の家」活動が朝日新聞に掲載され(2013. 2. 25)、日本の多くの方々から知られ信頼を得られるようになりました。去る6月29日には、私達浪速教会の信徒同志である兄弟姉妹が教会堂で初めて結婚式を行いました。今まで各教会から貰った長椅子では式場を作ることが難しかったので、模様変えが出来る椅子に変えました。これからは結婚式も行われるようになりました。

ゲストルームに泊まりながら住み込みでボランティア活動をする韓国青年研修生も建築が出来てから続いています。夏休み冬休みには韓国やアメリカから若者達が「愛の家」で宿泊し、短期研修を行い「愛の家」の活動を手伝っております。若者達が貧しい人と共に生きることの大切さを、研修会を通して学んでいます。「愛の家」センターでは、週3回の集会和炊き出し、無料散髪奉仕、シャワーサービスを常に行なっております。

私達は2015年までに「愛の家」センター建築借金返済完納を目標にして募金活動をしております。

今年も多くの方々から建築募金に協力していただきました。相変らず集会に参加する路上生活者の皆さんもアルミ缶献金に協力しています。

これからも建築献金へのご協力お願い致します。

**「愛の家」建築負債現状** (2013年12月1日現在)

負債 12,516,000 円  
－残金 1,481,021 円

実際の負債 11,034,979 円

**国内募金目標額: 1,000 万円**

- ①年1口5000円以上
- ②毎月1口1000円以上
- ③各教会、団体、組織別の建築献金
- ④遺産の寄付

発行責任者 金鐘賢・森優紀慶

発行所 「愛の家」広報部

〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3

浪速教会「愛の家」内

TEL 06-6561-4712(教会)

FAX 06-6561-4709(教会)

E-mail: [ainoie@msn.com](mailto:ainoie@msn.com)

ホームページ: [www.ainoie.org](http://www.ainoie.org)

郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会  
00930-0-299392

